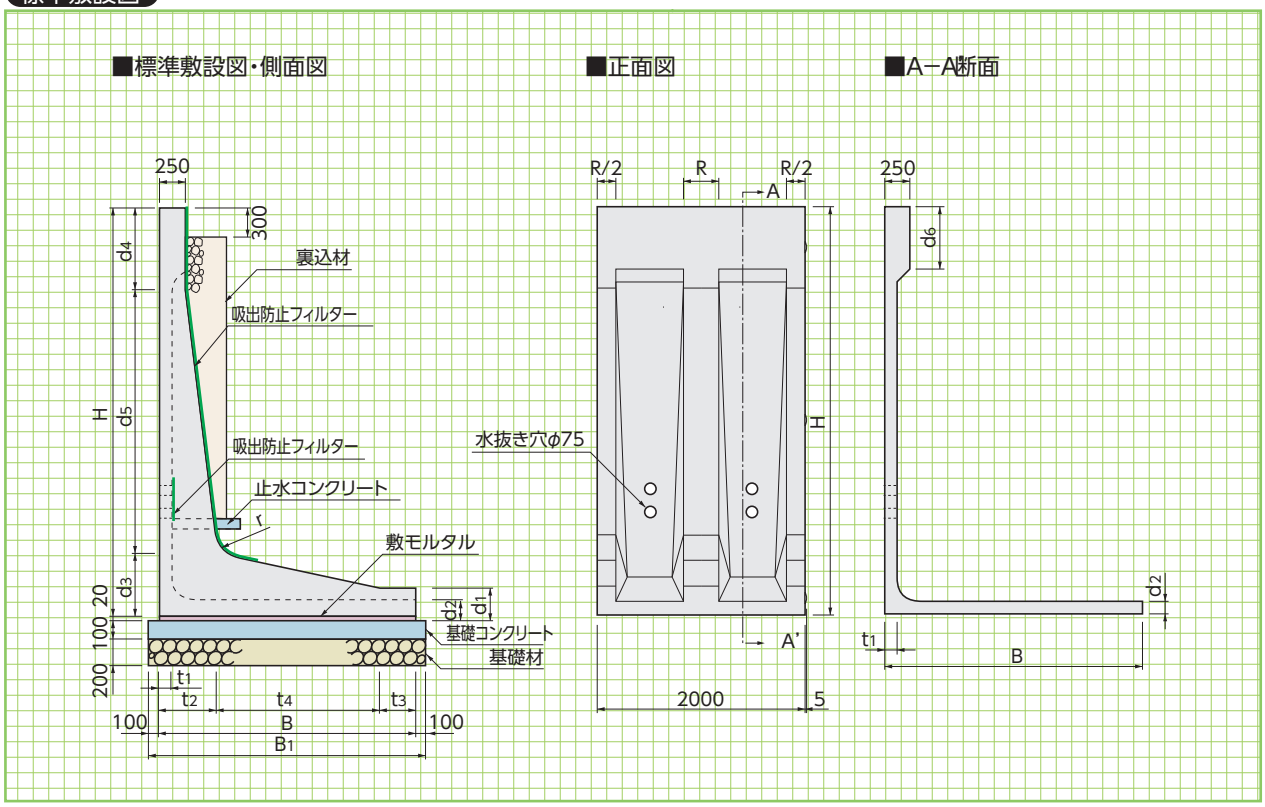
ハイ・タッチウォール 〈建設大臣認定製品〉(現:国土交通大臣) 〈宅地用L型擁壁:H3250以上〉

標準敷設図



■寸法・重量表

※L=1000も製造致します。　(　)重量は1mものの重量です。

呼　称	寸　法(mm)															参考重量 (kg)
	H	B	R(リブ)	t1	t2	t3	t4	t5	d1	d2	d3	d4	d5	d6	r(ハンチ)	
3250型	3250	2250	340	120	560	300	1390	250	250	120	560	550	2140	350	250	5870(2940)
3500型	3500	2250	340	120	560	300	1390	250	250	120	560	800	2140	600	250	6170(3090)
3750型	3750	2500	350	120	625	300	1575	250	250	125	625	550	2575	350	250	7220(3610)
4000型	4000	2500	350	120	625	300	1575	250	250	125	625	800	2575	600	250	7520(3760)
4250型	4250	2800	390	130	670	350	1780	250	300	130	670	750	2830	350	300	9080(4540)
4500型	4500	2800	390	130	670	350	1780	250	300	130	670	1000	2830	600	300	9380(4690)
4750型	4750	3000	390	130	735	350	1915	250	300	130	735	750	3265	350	300	10610(5310)
5000型	5000	3000	390	130	735	350	1915	250	300	130	735	1000	3265	600	300	10910(5460)
許容差	+10-5	+10-5	−	−	+5-2	−	−	+5-2	+5-2	−	+5-2	−	−	−	−	−

■コンクリート基礎工による標準敷設材料表

(10m当り)

呼　称	基　礎　工							吸出防止フィルター	裏込材	止　水コンクリート	製品本数
	基礎材		基礎コンクリート		敷モルタル		基礎型枠				
	B_1	m^2	B_1	m^3	B	m^3	m^2	m^2	m^3	m^3	本
3250型	2450	24.50	2450	2.45	2250	0.45	2.00	4.14	4.58	0.10	5.00
3500型	2450	24.50	2450	2.45	2250	0.45	2.00	4.39	5.00	0.10	5.00
3750型	2700	27.00	2700	2.70	2500	0.50	2.00	4.58	5.17	0.09	5.00
4000型	2700	27.00	2700	2.70	2500	0.50	2.00	4.83	5.59	0.09	5.00
4250型	3000	30.00	3000	3.00	2800	0.56	2.00	5.07	5.78	0.08	5.00
4500型	3000	30.00	3000	3.00	2800	0.56	2.00	5.32	6.23	0.08	5.00
4750型	3200	32.00	3200	3.20	3000	0.60	2.00	5.51	6.34	0.08	5.00
5000型	3200	32.00	3200	3.20	3000	0.60	2.00	5.76	6.79	0.08	5.00

■認定条件

1.適応土質積載荷重及び必要地耐力

(1)背面土及び基礎地盤の内部摩擦角は、それぞれ25度以上であること。ただし、土質試験により実況を確認しない場合には、背面土については宅地造成等規制法施行令別表第2による「砂利又は砂」、基礎地盤については同別表第3による「岩、岩屑、砂利又は砂」に該当する場合のみ使用することができるものとする。

(2)擁壁上端の水平面上の積載荷重は10kN/m²を超えないこととし、埋め戻し土の沈下を見込んだ余盛以上の土羽を設けないこと。

(3)基礎地盤の必要地耐力は、別表の数値によること。

■基礎の施工

1.基礎栗石等

(1)基礎栗石等は、標準厚さt=20cm以上、
標準幅b=(擁壁底版幅)+20cm以上とする。

(2)基礎栗石等は、栗石に砂利などの目潰しを加えランマー等によって十分に突き固め、所定の高さに平坦に仕上げる。

2.基礎コンクリート

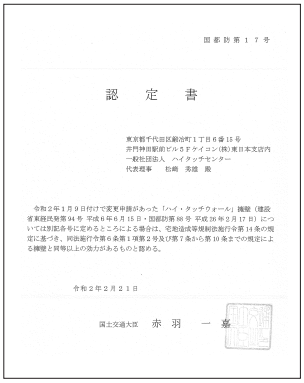
(1)基礎コンクリートは、標準厚さt=10cm以上
標準幅b=(擁壁底版幅)+20cm以上とする。

(2)基礎コンクリートの設計基準強度はσck=18　N/mm²以上とする。

(3)基礎コンクリートは、所定厚さまで定規で敷き均し、木ゴテ等で表面仕上を行う。なお基礎コンクリートは、適切な養生を行うこと。

■フェンスの設置

フェンスを設置するために、製造仕様書に基づいて天端に処置を施した擁壁については、フェンスの支柱と前壁を一体化して施工することができる。フェンスの高さについては、2.0mを限度とし、見付面積率は50%以下とする。



国都防第１７号

認　定　書

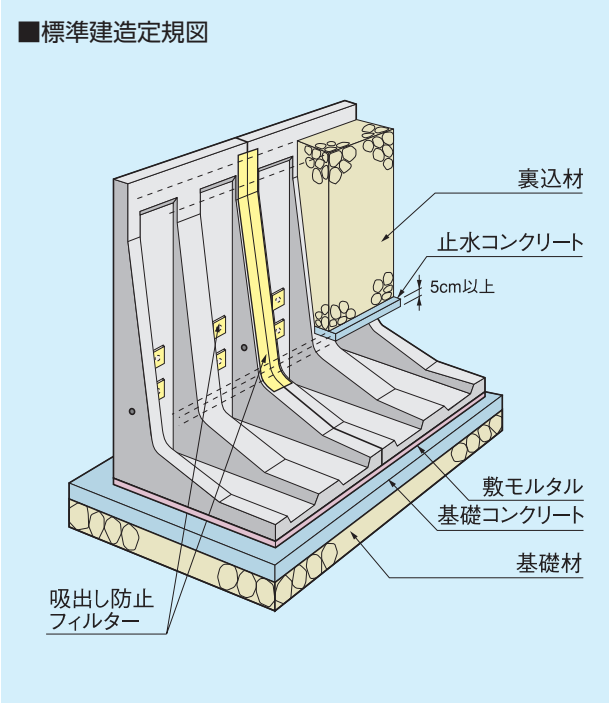
東京都千代田区麹町１丁目６番１５号
芦門神田駅前ビルヨドヤイコン(株)東日本支店内
一般社団法人　ハイタッチセンター
代表理事　谷崎　秀雄　殿

令和２年１月９日付けで変更申請があった「ハイ・タッチウォール」擁壁（建設省東経民発第94号・平成６年６月15日・国都防第88号・平成28年３月17日）については別記各号に定めるところによる場合は、宅地造成等規制法施行令第14条の規定に基づき、同法施行令第６条第１項第２号及び第７条から第10条までの規定による擁壁と同等以上の効力があるものと認める。

令和２年２月２１日

国土交通大臣　赤　羽　一　嘉

■標準建造定規図



■別表:基礎地盤の必要地耐力(築造仕様書より引用)

単位kN/m²(tf/m²)

擁壁の高さ（m） 背面土の内部摩擦角	3.25	3.50	3.75	4.00	4.25	4.50	4.75	5.00
25°	170(17)	180(18)	190(19)	200(20)	210(21)	220(22)	240(24)	260(26)
30°	150(15)	160(16)	170(17)	180(18)	190(19)	200(20)	220(22)	230(23)
35°	140(14)	150(15)	160(16)	170(17)	180(18)	190(19)	200(20)	210(21)
40°	130(13)	140(14)	140(14)	160(16)	160(16)	170(17)	180(18)	190(19)
45°	120(12)	130(13)	130(13)	140(14)	150(15)	160(16)	170(17)	180(18)

※上記表は認定条件内での数字です。
土質定数をご指示頂ければ、詳細の計算書は別途対応いたします。